

## 鹿屋市立寿北小学校 特別の教育課程の実施状況等について

## 1 特別の教育課程の概要

本校では、令和 3 年度～令和 4 年度、市内全小学校が文部科学省教育課程特例校の指定を受け、下述の 時数を確保し、現行の学習指導要領（外国語活動・外国語科）を踏まえて、「英語科」として先進的な英語教育の実践研究を推進しています。

英語大好きな子どもたちをイメージし、小学 1 年生から児童の興味・関心や理解度に合わせた英語を使って段階的に指導し、小学校 6 年間を通して、総合的にコミュニケーション能力の基礎を育成し、小・中一貫による英語教育の推進を図ることを目指しています。

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年 (教科)	6 年 (教科)	総時数
年間時数	20	20	35	35	70	70	250
使用する教材等	オリジナル	オリジナル	Let's Try!1	Let's Try!2	教科書 My Book Picture Dictionary	教科書 My Book Picture Dictionary	

## 2 鹿屋市の英語教育の目指す生徒像

「地球規模で様々な問題を考え、郷土の魅力を生かして、英語を使って、能動的に課題解決に向けた行動を起こす児童生徒の育成」子どもたちが英語の学習に主体的に取り組み、コミュニケーション能力を育成した結果、郷土の課題解決に貢献したり、グローバルな視点を持ち、郷土の魅力を世界に発信し、持続可能な社会の発展に貢献したりする人材の育成を目指します。子どもたち・先生方・学校・保護者・地域が一体となって、「わくわく」するような授業を一緒につくり、多文化共生社会を生き抜く「グローバル人材」を育成を目指します。

## 2 本校の教育目標

共に学び 共に伸びる 元気な寿北っ子

## 3 本校の令和 3 年度英語教育の実践について

## (1) 1・2 年生の取組

- ・ クラスルームイングリッシュを取り入れ、英語に慣れ親しませた。
- ・ 絵本の読み聞かせを行い、英語の音声に慣れ親しませた。
- ・ 振り返りカードを活用し、活動への成就感を味わわせた。

## (2) 3・4 年生の取組

- ・ クラスルームイングリッシュカードを活用し、英語でやり取りをさせた。
- ・ 振り返りカードを活用し、自己の成長に気付かせた。

## (3) 5・6 年生の取組

- ・ 魅力的な単元のゴールを設定し、相手・場面・状況意識をもちながら英語でコミュニケーションをとれるようにした。
- ・ 振り返りカードを活用し、自己の成長や学び方の変容に気付かせた。

## (4) 鹿屋市各地区英語教育圏推進会議について（小中一貫教育）

- ・ 学期 1 回程度、授業を公開して情報交換を行い、授業改善につなげた。
- ・ クラスルームイングリッシュの内容について情報交換を行い、授業に役立てた。

(5) 校内研修体制について

- ・ 英語専科や英語指導講師の授業を参観し、指導方法改善につなげた。
- ・ 通知表等の評価について研修を行い、共通理解を図った。

#### 4 特別の教育課程の実施状況に関する検証結果

(1) 自己評価（児童）の結果から

英語の授業は楽しいですか。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
楽しい	86%	77%	77%	66%	63%	40%
どちらかというと楽しい	11%	12%	18%	25%	28%	46%
あまり楽しくない	2%	8%	3%	9%	9%	9%
楽しくない	1%	3%	2%	0%	0%	5%

(2) 自己評価（教員）の結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
61%	36%	0%	3%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・ 英語に慣れ親しみ、楽しみながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- ・ 外国の異文化への興味・関心を高める。
- ・ 小・中・高の英語教育の接続をスムーズにする。 等

(3) 保護者評価結果から

Q1 お子さんは、英語の授業が好きですか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
55%	35%	8%	2%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・ 英語に苦手意識をもたず、積極的にコミュニケーションがとれるようにする。
- ・ 英語圏の方々と話す機会を増やしたり、英語の本の読み聞かせをしたりするなど英語をより身近なものにする。
- ・ 日常会話など実践的で役に立つ英会話を身に付ける。 等

(4) 学校関係者評価結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
88%	12%	0%	0%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・ 英語を聞いたり話したりできるようになる。また、外国の方といっぱいふれ合ったりする。
- ・ 英単語に触れ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 等

## 5 令和4年度の取組について

### (1) 1・2年生の取組

- ・ クラスルームイングリッシュに更に慣れ親しませ、友達どうしのやり取りでも使えるようにする。
- ・ 絵本の読み聞かせの取組を継続し、英語の音声に慣れ親しませる。

### (2) 3・4年生の取組

- ・ 実際のやり取りを意識したアクティビティに継続的に取り組み、英語でのコミュニケーションに慣れ親しませる。
- ・ 振り返りカードの内容や様式を見直し、自己の成長や学び方の変容をより書きやすいようにする。

### (3) 5・6年生の取組

- ・ 実際のやり取りを意識したアクティビティに継続的に取り組み、英語でのコミュニケーション力を高める。
- ・ 振り返りカードの内容や様式を見直し、自己の成長や学び方の変容を実感しやすいようにする。

### (4) 鹿屋市英語教育圏推進会議と鹿屋市各地区英語教育圏推進会議（小中一貫教育）について

- ・ 指導計画や指導方法について情報交換を行い、カリキュラムや授業改善につなげる。
- ・ クラスルームイングリッシュの内容について情報交換を行い、コミュニケーション力を高める。

### (5) 鹿屋市小中学校英語弁論大会（小学校：スキット部門）について

- ・ 校内選考会を複数で行って適正に評価し、代表児童を選出する。
- ・ 夏季休業等を利用して、スキットの内容や表現方法について代表児童に指導する。

### (6) グローカル・イングリッシュキャンプについて

- ・ 積極的に応募を促し、参加児童の英語への興味・関心を高め、コミュニケーション力を更に伸ばす。

### (7) 国立台北教育大教育実習生の受入による交流授業並びに遠隔授業について

- ・ 本校の実態等を踏まえ、取組を検討する。

### (8) スピーキングクエストの実施について

- ・ 学期1回、6年生を対象に実施する。
- ・ 実施に向け、既習内容の復習をしてコミュニケーション力を高める。

### (9) 校内研修体制（イングリッシュガイドブック・学習指導案等の活用）について

- ・ 学年会や教科・領域部会でイングリッシュガイドブックを活用し、授業の流れや指導方法について共通理解を図る。
- ・ 共通理解の下、日々の授業に取り入れて実践する。